

貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	125,942	固定負債	24,211
有形固定資産	119,843	地方債	21,284
事業用資産	27,344	長期未払金	-
土地	11,737	退職手当引当金	2,925
立木竹	2	損失補償等引当金	-
建物	41,113	その他	1
建物減価償却累計額	△ 26,885	流動負債	3,286
工作物	3,932	1年内償還予定地方債	3,045
工作物減価償却累計額	△ 3,044	未払金	-
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	201
航空機	-	預り金	40
航空機減価償却累計額	-	その他	-
その他	-	負債合計	27,497
その他減価償却累計額	-	【純資産の部】	
建設仮勘定	489	固定資産等形成分	129,567
インフラ資産	92,032	余剰分(不足分)	△ 26,499
土地	25,117		
建物	862		
建物減価償却累計額	△ 691		
工作物	169,177		
工作物減価償却累計額	△ 102,552		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	120		
物品	1,050		
物品減価償却累計額	△ 583		
無形固定資産	-		
ソフトウェア	-		
その他	-		
投資その他の資産	6,099		
投資及び出資金	742		
有価証券	-		
出資金	314		
その他	428		
投資損失引当金	△ 5		
長期延滞債権	137		
長期貸付金	0		
基金	5,236		
減債基金	648		
その他	4,588		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 12		
流動資産	4,622		
現金預金	957		
未収金	40		
短期貸付金	0		
基金	3,624		
財政調整基金	3,319		
減債基金	306		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	0		
資産合計	130,564	純資産合計	103,067
		負債及び純資産合計	130,564

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

行政コスト計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額
経常費用	20,570
業務費用	11,636
人件費	3,402
職員給与費	2,533
賞与等引当金繰入額	201
退職手当引当金繰入額	39
その他	630
物件費等	7,920
物件費	3,832
維持補修費	376
減価償却費	3,711
その他	-
その他の業務費用	314
支払利息	126
徴収不能引当金繰入額	7
その他	181
移転費用	8,934
補助金等	3,750
社会保障給付	2,634
他会計への繰出金	2,513
その他	37
経常収益	998
使用料及び手数料	542
その他	456
純経常行政コスト	19,572
臨時損失	512
災害復旧事業費	506
資産除売却損	6
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	21
資産売却益	21
その他	-
純行政コスト	20,062

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

純資産変動計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位:百万円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	104,181	131,420	△ 27,239
純行政コスト(△)	△ 20,062		△ 20,062
財源	18,856		18,856
税収等	15,151		15,151
国県等補助金	3,705		3,705
本年度差額	△ 1,206		△ 1,206
固定資産等の変動(内部変動)		△ 1,946	1,946
有形固定資産等の増加		1,740	△ 1,740
有形固定資産等の減少		△ 3,707	3,707
貸付金・基金等の増加		980	△ 980
貸付金・基金等の減少		△ 959	959
資産評価差額	-	-	
無償所管換等	92	92	
その他	-	-	-
本年度純資産変動額	△ 1,114	△ 1,854	740
本年度末純資産残高	103,067	129,567	△ 26,499

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

資金収支計算書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	16,814
業務費用支出	7,879
人件費支出	3,364
物件費等支出	4,208
支払利息支出	126
その他の支出	181
移転費用支出	8,934
補助金等支出	3,750
社会保障給付支出	2,634
他会計への繰出支出	2,513
その他の支出	37
業務収入	19,365
税収等収入	15,150
国県等補助金収入	3,217
使用料及び手数料収入	541
その他の収入	456
臨時支出	506
災害復旧事業費支出	506
その他の支出	-
臨時収入	272
業務活動収支	2,317
【投資活動収支】	
投資活動支出	2,476
公共施設等整備費支出	1,785
基金積立金支出	593
投資及び出資金支出	98
貸付金支出	0
その他の支出	-
投資活動収入	943
国県等補助金収入	217
基金取崩収入	669
貸付金元金回収収入	1
資産売却収入	55
その他の収入	-
投資活動収支	△ 1,533
【財務活動収支】	
財務活動支出	3,153
地方債償還支出	3,153
その他の支出	-
財務活動収入	2,323
地方債発行収入	2,323
その他の収入	-
財務活動収支	△ 830
本年度資金収支額	△ 46
前年度末資金残高	962
本年度末資金残高	916

前年度末歳計外現金残高	40
本年度歳計外現金増減額	1
本年度末歳計外現金残高	41
本年度末現金預金残高	957

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

※下記以外の資産及び負債のうち、その額が資産総額の100分の5を超える科目についても作成する。

(1) 資産項目の明細

① 有形固定資産の明細

(単位:円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末残高 (D)-(E) (G)
事業用資産	56,077,422,967	1,327,111,424	131,514,692	57,273,019,699	29,929,000,068	886,247,950	27,344,019,631
土地	11,482,896,755	275,631,864	21,619,572	11,736,909,047	-	-	11,736,909,047
立木竹	2,123,130	-	-	2,123,130	-	-	2,123,130
建物	40,697,584,380	454,015,040	38,562,200	41,113,037,220	26,885,400,564	827,105,920	14,227,636,656
工作物	3,809,354,062	122,390,500	-	3,931,744,562	3,043,599,504	59,142,030	888,145,058
船舶	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	85,464,640	475,074,020	71,332,920	489,205,740	-	-	489,205,740
インフラ資産	194,778,879,843	1,378,583,061	881,904,660	195,275,558,244	103,243,225,476	2,751,529,512	92,032,332,768
土地	25,089,287,103	46,752,961	18,940,000	25,117,100,064	-	-	25,117,100,064
建物	861,761,687	-	-	861,761,687	690,941,758	22,391,329	170,819,929
工作物	168,168,420,133	1,008,441,360	-	169,176,861,493	102,552,283,718	2,729,138,183	66,624,577,775
その他	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	659,410,920	323,388,740	862,964,660	119,835,000	-	-	119,835,000
物品	943,610,270	106,554,500	-	1,050,164,770	583,156,325	73,597,893	467,008,445
合計	251,799,913,080	2,812,248,985	1,013,419,352	253,598,742,713	133,755,381,869	3,711,375,355	119,843,360,844

③投資及び出資金の明細

市場価格のあるもの

(単位:円)

銘柄名	株数・口数など (A)	時価単価 (B)	貸借対照表計上額 (A)×(B) (C)	取得単価 (D)	取得原価 (A)×(D) (E)	評価差額 (C)-(E) (F)	(参考)財産に関する 調書記載額
該当なし							
合計	-	-	-	-	-	-	

市場価格のないものうち連結対象団体(会計)に対するもの

(単位:円)

相手先名	出資金額 (貸借対照表計上額) (A)	資産 (B)	負債 (C)	純資産額 (B)-(C) (D)	資本金 (E)	出資割合(%) (A)/(E) (F)	実質価額 (D)×(F) (G)	投資損失引当金 計上額 (H)	(参考)財産に関する 調書記載額
上水道事業会計	428,482,000	13,853,296,510	8,278,787,511	5,574,508,999	-	100.0%	5,574,508,999	-	-
下水道事業特別会計	-	法適化準備中				0.0%	-	-	-
株式会社そのべまちづづ くり工房	5,000,000	8,026	3,536,339	(3,528,313)	10,000,000	50.0%	(1,764,157)	5,000,000	5,000,000
日吉ふるさと株式会社	66,000,000	139,093,073	42,807,402	96,285,671	100,000,000	66.0%	63,548,543	-	66,000,000
美山ふるさと株式会社	62,650,000	220,206,247	106,186,880	114,019,367	97,400,000	64.3%	73,339,973	-	62,650,000
公益財団法人南丹市情報 センター	25,000,000	288,007,089	105,989,033	182,018,056	50,000,000	50.0%	91,009,028	-	25,000,000
公益財団法人園部町振興 公社	6,000,000	171,282,775	16,979,367	154,303,408	10,000,000	60.0%	92,582,045	-	6,000,000
公益財団法人園部町農業 公社	15,000,000	323,052,468	39,101,654	283,950,814	30,000,000	50.0%	141,975,407	-	15,000,000
公益財団法人南丹市福祉 シルバー人材センター	30,000,000	341,951,264	26,733,275	315,217,989	30,000,000	100.0%	315,217,989	-	30,000,000
公益財団法人八木町農業 公社	20,000,000	179,603,956	22,638,493	156,965,463	40,000,000	50.0%	78,482,732	-	20,000,000
医療法人財団美山健康会	42,864,782	91,421,283	20,408,848	71,012,435	64,999,111	65.9%	46,830,372	-	42,864,782
合計	700,996,782	15,607,922,691	8,663,168,802	6,944,753,889	432,399,111			5,000,000	272,514,782

(注)公営企業については、記載を省略しております。

市場価格のないものうち連結対象団体(会計)以外に対するもの

(単位:円)

相手先名	出資金額 (A)	資産 (B)	負債 (C)	純資産額 (B)-(C) (D)	資本金 (E)	出資割合(%) (A)/(E) (F)	実質価額 (D)×(F) (G)	強制評価減 (H)	貸借対照表計上額 (A)-(H) (I)	(参考)財産に関する 調書記載額
京都府農業信用基金協会	9,070,000	109,991,612,000	105,612,127,000	4,379,485,000	4,379,484,000	0.2%	9,070,002	-	9,070,000	9,070,000
(一社)京都府農業会議	320,000	373,212,997	337,973,435	35,239,562	13,860,000	2.3%	813,612	-	320,000	320,000
大阪湾広域臨海環境整備 センター	400,000	43,807,637,126	28,433,793,497	15,373,843,629	136,900,000	0.3%	44,919,923	-	400,000	400,000
地方公共団体金融機構	5,200,000	24,346,700,000,000	24,022,803,000,000	323,896,000,000	16,602,000,000	0.0%	101,449,175	-	5,200,000	5,200,000
美山町森林組合	1,184,000	460,409,498	181,455,193	278,954,305	73,293,500	1.6%	4,506,292	-	1,184,000	1,184,000
(公財)京都府暴力追放運 動推進センター	1,412,000	1,055,280,782	1,569,647	1,053,711,135	1,001,230,000	0.1%	1,486,012	-	1,412,000	1,412,000
(一財)京都伝統工芸産業 支援センター	3,000,000	54,504,653	725,320	53,779,333	20,000,000	15.0%	8,066,900	-	3,000,000	3,000,000
京都信用保証協会	19,066,099	691,804,156,265	607,778,881,746	84,025,274,519	56,017,274,519	0.0%	28,598,932	-	19,066,099	19,066,099
(一財)京都ゼミナールハウ ス	1,000,000	52,157,046	10,454,894	41,702,152	3,000,000	33.3%	13,900,717	-	1,000,000	1,000,000
(一財)都市農山漁村交流 活性化機構	500,000	892,853,998	16,154,196	876,699,802	876,699,802	0.1%	500,000	-	500,000	500,000
合計	41,152,099								41,152,099	41,152,099

④基金の明細

(単位:円)

種類	現金預金	有価証券	土地	その他	合計 (貸借対照表計上額)	(参考)財産に関する 調書記載額
財政調整基金	3,318,789,260				3,318,789,260	3,318,789,260
減債基金	953,735,273				953,735,273	953,735,273
地域福祉基金	53,403,205				53,403,205	53,403,205
ふるさと・水と土保全基金	36,702,897				36,702,897	36,702,897
義務教育施設整備基金	881,619				881,619	881,619
向山橋ほか7橋維持管理基金	20,168,723				20,168,723	20,168,723
電源立地地域対策整備基金	1,000				1,000	1,000
地域情報通信基盤整備基金	262,079,466				262,079,466	262,079,466
まちづくり整備基金	222,349,934				222,349,934	222,349,934
スプリングスひよし管理運営基金	18,690,967				18,690,967	18,690,967
かやぶきの里保存基金	8,712,118				8,712,118	8,712,118
園部女性の館管理運営基金	21,877,645				21,877,645	21,877,645
ふるさと南丹応援基金	75,615,084				75,615,084	75,615,084
豊かな森を育てる基金	4,902,620				4,902,620	4,902,620
森林環境基金	35,836,000				35,836,000	35,836,000
活性化推進基金(旧合併特例事業債積立)	2,237,051,899				2,237,051,899	2,237,051,899
過疎地域自立促進特別事業基金(過疎地域自立促進特別事業債積立)	590,520,965				590,520,965	590,520,965
土地開発基金	545,173,934		453,897,943		999,071,877	999,071,877
合計	8,406,492,609	-	453,897,943	-	8,860,390,552	8,860,390,552

⑤貸付金の明細

(単位:円)

相手先名または種別	長期貸付金		短期貸付金		(参考) 貸付金計
	貸借対照表計上額	徴収不能引当金 計上額	貸借対照表計上額	徴収不能引当金 計上額	
地方公営事業	-	-	-	-	-
一部事務組合・広域連合	-	-	-	-	-
地方独立行政法人	-	-	-	-	-
地方三公社	-	-	-	-	-
第三セクター等	-	-	-	-	-
その他の貸付金	50,000	-	300,000	-	350,000
くらしの資金貸付金	50,000		300,000		350,000
合計	50,000	-	300,000	-	350,000

⑥長期延滞債権の明細

(単位:円)

相手先名または種別	貸借対照表計上額	徴収不能引当金計上額
【貸付金】		
第三セクター等	-	-
その他の貸付金	11,254,361	-
くらしの資金貸付金	10,882,361	-
生活資金貸付金	188,000	
奨学資金貸付金	184,000	
小計	11,254,361	-
【未収金】		
税等未収金	53,652,557	8,639,769
市民税	15,023,354	2,743,821
固定資産税	32,600,135	4,978,814
軽自動車税	4,230,822	739,025
都市計画税	1,798,246	178,109
その他の未収金	72,493,238	3,326,689
使用料・手数料	72,493,238	3,326,689
小計	126,145,795	11,966,458
合計	137,400,156	11,966,458

⑦未収金の明細

(単位:円)

相手先名または種別	貸借対照表計上額	徴収不能引当金計上額
【貸付金】		
第三セクター等	-	-
その他の貸付金	65,000	-
くらしの資金貸付金	65,000	-
小計	65,000	-
【未収金】		
税等未収金	28,843,361	43,869
市民税	11,301,825	7,311
固定資産税	14,310,387	30,894
軽自動車税	2,400,900	2,772
都市計画税	830,249	2,892
その他の未収金	11,130,454	-
使用料・手数料	11,130,454	-
小計	39,973,815	43,869
合計	40,038,815	43,869

(2)負債項目の明細

①地方債(借入先別)の明細

(単位:円)

種類	地方債残高		政府資金	地方公共団体 金融機構	市中銀行	その他の 金融機関	市場公募債		その他	
		うち1年内償還予定					うち共同発行債	うち住民公募債		
【通常分】	15,371,284,955	2,307,676,346	4,787,545,094	3,520,798,885	3,977,658,000	207,700,000	-	-	-	2,877,582,976
一般公共事業	213,679,858	45,296,940	213,679,858	-	-	-	-	-	-	-
公営住宅建設	237,535,083	48,744,289	237,535,083	-	-	-	-	-	-	-
災害復旧	385,080,216	43,289,816	385,080,216	-	-	-	-	-	-	-
教育・福祉施設	578,564,847	104,624,906	372,091,447	-	133,300,000	14,208,000	-	-	-	58,965,400
一般単独事業	9,334,150,464	1,331,144,200	225,402,986	3,170,364,516	3,678,784,000	193,492,000	-	-	-	2,066,106,962
その他	4,622,274,487	734,576,195	3,353,755,504	350,434,369	165,574,000	-	-	-	-	752,510,614
【特別分】	8,958,223,950	737,693,098	7,903,075,929	-	122,928,000	-	-	-	-	932,220,021
臨時財政対策債	8,925,762,326	730,944,778	7,870,614,305	-	122,928,000	-	-	-	-	932,220,021
減税補てん債	32,461,624	6,748,320	32,461,624	-	-	-	-	-	-	-
退職手当債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	24,329,508,905	3,045,369,444	12,690,621,023	3,520,798,885	4,100,586,000	207,700,000	-	-	-	3,809,802,997

②地方債（利率別）の明細

(単位:円)

地方債残高	1.5%以下	1.5%超 2.0%以下	2.0%超 2.5%以下	2.5%超 3.0%以下	3.0%超 3.5%以下	3.5%超 4.0%以下	4.0%超	(参考) 加重平均 利率
24,329,508,905	21,973,639,120	2,264,490,559	79,271,014	0	4,766,118	0	7,342,094	

③地方債（返済期間別）の明細

(単位:円)

地方債残高	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超 15年以内	15年超 20年以内	20年超
24,329,508,905	3,045,369,444	3,240,032,233	2,872,942,529	2,660,234,829	2,404,699,795	7,248,471,084	2,203,154,573	642,894,666	11,709,752

④特定の契約条項が付された地方債の概要

(単位:円)

特定の契約条項が 付された地方債残高	契約条項の概要
該当なし	

⑤引当金の明細

(単位:円)

区分	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額		本年度末残高
			目的使用	その他	
徴収不能引当金(固定)	12,920,749	7,346,561	8,300,852	-	11,966,458
徴収不能引当金(流動)	35,859	20,910	12,900	-	43,869
投資損失引当金	5,000,000	-	-	-	5,000,000
退職手当引当金	2,886,748,000	38,710,000	-	-	2,925,458,000
賞与等引当金	201,743,916	200,616,452	201,743,916	-	200,616,452
合計	3,106,448,524	246,693,923	210,057,668	-	3,143,084,779

2. 行政コスト計算書の内容に関する明細

(1) 補助金等の明細

(単位:円)

区分	名称	相手先	金額	支出目的
他団体への公共施設等整備補助金等 (所有外資産分)				
	計		-	
その他の補助金等	京都中部広域消防組合負担金	京都中部広域消防組合	648,596,000	一組負担金
	船井郡衛生管理組合負担金	船井郡衛生管理組合	418,641,000	一組負担金
	公立南丹病院組合負担金	公立南丹病院組合	658,618,000	一組負担金
	その他		2,024,093,825	
	計		3,749,948,825	
合計			3,749,948,825	

3. 純資産変動計算書の内容に関する明細

(1) 財源の明細

(単位:円)

会計	区分	財源の内容		金額	
一般会計等	税込等	地方税		4,445,377,490	
		税交付金		806,213,785	
		地方交付税		9,784,432,000	
		その他		115,137,405	
		小計		15,151,160,680	
	国県等補助金	資本的補助金	国庫支出金		200,243,501
			都道府県等支出金		16,815,000
			計		217,058,501
		経常的補助金	国庫支出金		1,931,500,479
			都道府県等支出金		1,556,368,643
			計		3,487,869,122
		小計		3,704,927,623	
		合計			18,856,088,303

(2)財源情報の明細

(単位:円)

区分	金額	内訳			
		国県等補助金	地方債	税収等	その他
純行政コスト	20,062,472,412	3,487,869,122	853,300,000	11,958,544,233	3,762,759,057
有形固定資産等の増加	1,740,109,188	217,058,501	1,278,400,000	244,650,687	-
貸付金・基金等の増加	980,447,760	-	191,000,000	980,447,760	-
その他	-	-	-	-	-
合計	22,783,029,360	3,704,927,623	2,322,700,000	13,183,642,680	3,762,759,057

4. 資金収支計算書の内容に関する明細

(1) 資金の明細

(単位:円)

種類	本年度末残高
現金	-
要求払預金	916,091,809
短期投資	-
合計	916,091,809

【一般会計等財務書類 注記事項】

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

② 無形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的有価証券……………償却原価法（定額法）

② 満期保有目的以外の有価証券

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

（売却原価は移動平均法により算定）

イ 市場価格のないもの……………取得原価（又は償却原価法（定額法））

③ 出資金

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

（売却原価は移動平均法により算定）

イ 市場価格のないもの……………出資金額

(3) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 8年～50年

工作物 8年～75年

物品 2年～17年

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

③ リース資産

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

- ……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
- イ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
- ……………リース期間を耐用年数とし、残存価値をゼロとする定額法

(4) 引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合における実質価額と取得価額との差額を計上しています。

② 徴収不能引当金

未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。
長期延滞債権については、個別に回収可能性を検討し、徴収不能見込額を計上しています。

③ 退職手当引当金

期末自己都合要支給額から、京都市市町村職員退職手当組合への加入時以降の負担金の累計額から既に本市職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、同組合における積立金額の運用益のうち本市へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。

④ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(5) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(6) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）

なお、現金には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含みます。

(7) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 物品及びソフトウェアの計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が50万円（美術品は300万円）以上の場合に資産として計上しています。

ソフトウェアについても、物品の取扱いに準じます。

② 資本的支出と修繕費の区分基準

資本的支出と修繕費の区分基準については、原則として、法人税法基本通達第7章第8節によっています。

2 追加情報

(1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

- ① 一般会計等財務書類の対象範囲は次のとおりです。
 - 一般会計
 - 市営バス運行事業特別会計
 - 土地取得事業特別会計
- ② 地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。
- ③ 地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の状況は、次のとおりです。

実質赤字比率	— %
連結実質赤字比率	— %
実質公債費比率	13.4 %
将来負担比率	82.7 %
- ④ 繰越事業に係る将来の支出予定額 1,814 百万円

(2) 貸借対照表に係る事項

- ① 売却可能資産の範囲の範囲及び内訳金額について、南丹市の統一的なルールが設定できておらず、また「時価」の定義が明確でないため、当年度は未計上としています。
- ② 減債基金に係る積立不足額 23,376 百万円
- ③ 地方交付税措置のある地方債のうち、将来の普通交付税の算定基礎である基準財政需要額に含まれることが見込まれる金額 30,773 百万円
- ④ 地方公共団体の財政の健全化に関する法律における将来負担比率の算定要素は、次のとおりです。

標準財政規模	14,076 百万円
元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額	3,409 百万円
将来負担額	46,745 百万円
充当可能基金額	6,029 百万円
特定財源見込額	1,115 百万円
地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額	30,773 百万円

(3) 純資産変動計算書に係る事項

純資産における固定資産等形成分及び余剰分（不足分）の内容

- ① 固定資産等形成分
固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。
- ② 余剰分（不足分）
純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

(4) 資金収支計算書に係る事項

- ① 基礎的財政収支 834 百万円
② 既存の決算情報との関連性

	収入（歳入）	支出（歳出）
歳入歳出決算書	23,801 百万円	22,889 百万円
財務書類の対象となる会計の範囲の相違に伴う差額	86 百万円	82 百万円
繰越金に伴う差額	△ 962 百万円	－ 百万円
内部取引消去	△ 23 百万円	△ 23 百万円
資金収支計算書	22,902 百万円	22,948 百万円

地方自治法第233条第1項に基づく歳入歳出決算書は「一般会計」を対象範囲としているのに対し、資金収支計算書は「一般会計等」を対象範囲としているため、一部の特別会計（市営バス運行事業特別会計、土地取得事業特別会計）の分だけ相違します。また、歳入歳出決算書は、「繰越金」を収入としていますが、資金収支計算書は計上しないため、その分だけ相違します。

さらに、会計間の内部取引を相殺消去しているため、その分だけ相違します。

- ③ 資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額

資金収支計算書の業務活動収支	2,317 百万円
未収債権額の増加（減少）	29 百万円
減価償却費	△ 3,711 百万円
賞与等引当金（増減額）	1 百万円
退職手当引当金（増減額）	△ 39 百万円
徴収不能引当金（増減額）	1 百万円
国県等補助金収入（投資活動）	217 百万円
資産売却益（損）	△ 21 百万円
純資産変動計算書の本年度差額	△ 1,206 百万円

- ④ 一時借入金

資金収支計算書上、一時借入金の増減額は含まれていません。

なお、一時借入金の限度額及び利子額は次のとおりです。

一時借入金の限度額	1,300 百万円
一時借入金に係る利子額	－ 百万円

全体貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	136,727	固定負債	32,190
有形固定資産	130,569	地方債	24,916
事業用資産	27,344	長期未払金	-
土地	11,737	退職手当引当金	3,116
立木竹	2	損失補償等引当金	-
建物	41,113	その他	4,159
建物減価償却累計額	△ 26,885	流動負債	3,782
工作物	3,932	1年内償還予定地方債	3,352
工作物減価償却累計額	△ 3,044	未払金	144
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	214
航空機	-	預り金	40
航空機減価償却累計額	-	その他	32
その他	-	負債合計	35,972
その他減価償却累計額	-	【純資産の部】	
建設仮勘定	489	固定資産等形成分	140,352
インフラ資産	102,041	余剰分(不足分)	△ 31,664
土地	25,764		
建物	1,516		
建物減価償却累計額	△ 936		
工作物	182,103		
工作物減価償却累計額	△ 106,546		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	140		
物品	2,797		
物品減価償却累計額	△ 1,613		
無形固定資産	0		
ソフトウェア	-		
その他	0		
投資その他の資産	6,158		
投資及び出資金	314		
有価証券	-		
出資金	314		
その他	-		
投資損失引当金	△ 5		
長期延滞債権	294		
長期貸付金	0		
基金	5,687		
減債基金	648		
その他	5,038		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 131		
流動資産	7,933		
現金預金	4,131		
未収金	174		
短期貸付金	0		
基金	3,624		
財政調整基金	3,319		
減債基金	306		
棚卸資産	14		
その他	10		
徴収不能引当金	△ 21		
資産合計	144,660	純資産合計	108,687
		負債及び純資産合計	144,660

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

全体行政コスト計算書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額
経常費用	28,657
業務費用	13,137
人件費	3,716
職員給与費	2,686
賞与等引当金繰入額	213
退職手当引当金繰入額	163
その他	654
物件費等	8,936
物件費	4,300
維持補修費	431
減価償却費	4,205
その他	1
その他の業務費用	485
支払利息	205
徴収不能引当金繰入額	19
その他	261
移転費用	15,520
補助金等	11,492
社会保障給付	2,634
他会計への繰出金	1,356
その他	37
経常収益	1,777
使用料及び手数料	1,246
その他	531
純経常行政コスト	26,880
臨時損失	513
災害復旧事業費	506
資産除売却損	7
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	33
資産売却益	21
その他	12
純行政コスト	27,360

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

全体純資産変動計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位:百万円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	109,818	142,601	△ 32,783
純行政コスト(△)	△ 27,360		△ 27,360
財源	26,129		26,129
税収等	18,076		18,076
国県等補助金	8,052		8,052
本年度差額	△ 1,231		△ 1,231
固定資産等の変動(内部変動)		△ 2,340	2,340
有形固定資産等の増加		1,974	△ 1,974
有形固定資産等の減少		△ 4,321	4,321
貸付金・基金等の増加		1,141	△ 1,141
貸付金・基金等の減少		△ 1,133	1,133
資産評価差額	-	-	
無償所管換等	90	90	
その他	10	0	10
本年度純資産変動額	△ 1,130	△ 2,249	1,119
本年度末純資産残高	108,687	140,352	△ 31,664

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

全体資金収支計算書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	24,245
業務費用支出	8,725
人件費支出	3,554
物件費等支出	4,710
支払利息支出	205
その他の支出	256
移転費用支出	15,520
補助金等支出	11,492
社会保障給付支出	2,634
他会計への繰出支出	1,356
その他の支出	37
業務収入	27,169
税込等収入	17,957
国県等補助金収入	7,465
使用料及び手数料収入	1,227
その他の収入	520
臨時支出	506
災害復旧事業費支出	506
その他の支出	-
臨時収入	283
業務活動収支	2,702
【投資活動収支】	
投資活動支出	2,784
公共施設等整備費支出	2,074
基金積立金支出	709
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	0
その他の支出	-
投資活動収入	988
国県等補助金収入	217
基金取崩収入	696
貸付金元金回収収入	1
資産売却収入	55
その他の収入	18
投資活動収支	△ 1,796
【財務活動収支】	
財務活動支出	3,439
地方債償還支出	3,439
その他の支出	-
財務活動収入	2,323
地方債発行収入	2,323
その他の収入	-
財務活動収支	△ 1,116
本年度資金収支額	△ 210
前年度末資金残高	4,299
本年度末資金残高	4,090

前年度末歳計外現金残高	40
本年度歳計外現金増減額	1
本年度末歳計外現金残高	41
本年度末現金預金残高	4,131

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

全体附属明細書

1. 全体貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

① 有形固定資産の明細

(単位:円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	本年度末 減損損失累計額 (G)	本年度減損額 (H)	差引本年度末残高 (D)-(E)-(G) (I)
事業用資産	56,077,422,967	1,327,111,424	131,514,692	57,273,019,699	29,929,000,068	886,247,950	-	-	27,344,019,631
土地	11,482,896,755	275,631,864	21,619,572	11,736,909,047	-	-	-	-	11,736,909,047
立木竹	2,123,130	-	-	2,123,130	-	-	-	-	2,123,130
建物	40,697,584,380	454,015,040	38,562,200	41,113,037,220	26,885,400,564	827,105,920	-	-	14,227,636,656
工作物	3,809,354,062	122,390,500	-	3,931,744,562	3,043,599,504	59,142,030	-	-	888,145,058
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	85,464,640	475,074,020	71,332,920	489,205,740	-	-	-	-	489,205,740
インフラ資産	208,841,703,811	1,576,291,319	894,160,077	209,523,835,053	107,482,380,673	3,126,670,174	-	-	102,041,454,380
土地	25,737,154,609	46,752,961	19,434,000	25,764,473,570	-	-	-	-	25,764,473,570
建物	1,516,162,759	-	-	1,516,162,759	936,151,021	39,492,929	-	-	580,011,738
工作物	180,921,117,523	1,193,999,618	11,761,417	182,103,355,724	106,546,229,652	3,087,177,245	-	-	75,557,126,072
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	667,268,920	335,538,740	862,964,660	139,843,000	-	-	-	-	139,843,000
物品	2,666,326,622	142,988,296	12,806,654	2,796,508,264	1,613,357,706	191,632,980	-	-	1,183,150,558
合計	267,585,453,400	3,046,391,039	1,038,481,423	269,593,363,016	139,024,738,447	4,204,551,104	-	-	130,568,624,569

【全体会計財務書類 注記事項】

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

② 無形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的有価証券……………償却原価法（定額法）

② 満期保有目的以外の有価証券

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

（売却原価は移動平均法により算定）

イ 市場価格のないもの……………取得原価（又は償却原価法（定額法））

③ 出資金

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

（売却原価は移動平均法により算定）

イ 市場価格のないもの……………出資金額

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物	8 年～50 年
工作物	8 年～75 年
物品	2 年～17 年

- ② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法
- ③ リース資産
 - ア 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
 - イ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
……………リース期間を耐用年数とし、残存価値をゼロとする定額法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

- ① 投資損失引当金
市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合における実質価額と取得価額との差額を計上しています。
- ② 徴収不能引当金
未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。
長期延滞債権については、個別に回収可能性を検討し、徴収不能見込額を計上しています。
- ③ 退職手当引当金
期末自己都合要支給額から、京都市町村職員退職手当組合への加入時以降の負担金の累計額から既に本市職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、同組合における積立金額の運用益のうち本市へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。
- ④ 賞与等引当金
翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

- ① ファイナンス・リース取引
通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。
- ② オペレーティング・リース取引
通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 全体資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）
なお、現金には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含みます。

(8) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。
ただし、一部の連結対象会計については、税抜方式によっています。

2 追加情報

(1) 連結対象会計

会計名	区分	連結の方法	比例連結割合
上水道事業会計	地方公営事業会計 (地方公営企業会計)	全部連結	—
国民健康保険事業特別会計	地方公営事業会計(その他)	全部連結	—
介護保険事業特別会計	地方公営事業会計(その他)	全部連結	—
後期高齢者医療事業特別会計	地方公営事業会計(その他)	全部連結	—

連結の方法は次のとおりです。

① 地方公営企業会計は、すべて全部連結の対象としています。

ただし下水道事業特別会計は、地方公営企業法の財務規定等の適用に向けた作業に着手している(平成29年度までに着手かつ集中取組期間内に当該規定等を適用)ため、連結対象外としています。

なお、下水道事業特別会計の地方債残高は、18,568百万円、同会計に対する一般会計繰出金は1,349百万円であり、同繰出金は行政コスト計算書の「他会計への繰出金」、資金収支計算書の「他会計への繰出支出」に含めて計上しています。

(2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき、出納整理期間を設けられている団体(会計)においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。なお、出納整理期間を設けていない団体(会計)と出納整理期間を設けている団体(会計)との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

(3) 表示単位未満の取扱い

百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

(4) 売却可能資産の範囲と内訳について

売却可能資産については、固定資産台帳から売却可能資産の範囲を検討中であり、当年度末時点で売却可能資産に該当する資産はありません。

連結貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	143,957	固定負債	34,829
有形固定資産	135,202	地方債	26,271
事業用資産	31,125	長期未払金	6
土地	12,720	退職手当引当金	3,937
立木竹	2	損失補償等引当金	-
建物	47,991	その他	4,615
建物減価償却累計額	△ 31,307	流動負債	4,855
工作物	3,999	1年内償還予定地方債	3,636
工作物減価償却累計額	△ 3,083	未払金	595
船舶	-	未払費用	5
船舶減価償却累計額	-	前受金	5
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	381
航空機	-	預り金	84
航空機減価償却累計額	-	その他	150
その他	932	負債合計	39,684
その他減価償却累計額	△ 618	【純資産の部】	
建設仮勘定	489	固定資産等形成分	147,740
インフラ資産	102,041	余剰分(不足分)	△ 32,883
土地	25,764	他団体出資等分	469
建物	1,516		
建物減価償却累計額	△ 936		
工作物	182,103		
工作物減価償却累計額	△ 106,546		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	140		
物品	7,827		
物品減価償却累計額	△ 5,791		
無形固定資産	5		
ソフトウェア	4		
その他	1		
投資その他の資産	8,750		
投資及び出資金	41		
有価証券	-		
出資金	41		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	543		
長期貸付金	4		
基金	7,585		
減債基金	648		
その他	6,936		
その他	716		
徴収不能引当金	△ 139		
流動資産	11,053		
現金預金	5,893		
未収金	1,258		
短期貸付金	0		
基金	3,783		
財政調整基金	3,477		
減債基金	306		
棚卸資産	128		
その他	19		
徴収不能引当金	△ 27		
繰延資産	0		
資産合計	155,009	純資産合計	115,325
		負債及び純資産合計	155,009

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

連結行政コスト計算書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額
経常費用	39,402
業務費用	20,885
人件費	7,042
職員給与費	5,855
賞与等引当金繰入額	383
退職手当引当金繰入額	140
その他	663
物件費等	13,044
物件費	7,593
維持補修費	519
減価償却費	4,651
その他	280
その他の業務費用	799
支払利息	229
徴収不能引当金繰入額	32
その他	538
移転費用	18,517
補助金等	14,430
社会保障給付	2,636
他会計への繰出金	1,356
その他	94
経常収益	7,722
使用料及び手数料	5,010
その他	2,712
純経常行政コスト	31,680
臨時損失	541
災害復旧事業費	506
資産除売却損	23
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	12
臨時利益	51
資産売却益	21
その他	30
純行政コスト	32,170

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

連結純資産変動計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位:百万円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分(不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	116,399	150,520	△ 34,584	463
純行政コスト(△)	△ 32,170		△ 32,175	6
財源	30,928		30,928	-
税金等	20,451		20,451	-
国県等補助金	10,477		10,477	-
本年度差額	△ 1,242		△ 1,248	6
固定資産等の変動(内部変動)				
有形固定資産等の増加				
有形固定資産等の減少				
貸付金・基金等の増加				
貸付金・基金等の減少				
資産評価差額	-			
無償所管換等	90			
他団体出資等分の増加	-			-
他団体出資等分の減少	-			-
比例連結割合変更に伴う差額	68			
その他	10			
本年度純資産変動額	△ 1,073	△ 2,780	1,701	6
本年度末純資産残高	115,325	147,740	△ 32,883	469

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

連結附属明細書

1. 連結貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

① 有形固定資産の明細

(単位:円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	本年度末 減損損失累計額 (G)	本年度減損額 (H)	差引本年度末残高 (D)-(E)-(G) (I)
事業用資産	64,983,644,285	1,353,479,236	203,703,098	66,133,420,423	35,008,425,197	1,015,210,027	-	-	31,124,995,226
土地	12,466,241,650	275,707,169	21,791,866	12,720,156,953	-	-	-	-	12,720,156,953
立木竹	2,123,130	-	-	2,123,130	-	-	-	-	2,123,130
建物	47,621,233,115	480,307,547	110,578,312	47,990,962,350	31,307,117,315	931,695,302	-	-	16,683,845,035
工作物	3,876,327,486	122,390,500	-	3,998,717,986	3,083,011,806	61,730,221	-	-	915,706,180
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	932,254,264	-	-	932,254,264	618,296,076	21,784,504	-	-	313,958,188
建設仮勘定	85,464,640	475,074,020	71,332,920	489,205,740	-	-	-	-	489,205,740
インフラ資産	208,841,703,811	1,576,291,319	894,160,077	209,523,835,053	107,482,380,673	3,126,670,174	-	-	102,041,454,380
土地	25,737,154,609	46,752,961	19,434,000	25,764,473,570	-	-	-	-	25,764,473,570
建物	1,516,162,759	-	-	1,516,162,759	936,151,021	39,492,929	-	-	580,011,738
工作物	180,921,117,523	1,193,999,618	11,761,417	182,103,355,724	106,546,229,652	3,087,177,245	-	-	75,557,126,072
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	667,268,920	335,538,740	862,964,660	139,843,000	-	-	-	-	139,843,000
物品	7,615,860,419	279,755,312	69,039,439	7,826,576,292	5,791,220,337	412,409,668	-	-	2,035,355,955
合計	281,441,208,515	3,209,525,867	1,166,902,614	283,483,831,768	148,282,026,207	4,554,289,869	-	-	135,201,805,561

【連結会計財務書類 注記事項】

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

② 無形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的有価証券……………償却原価法（定額法）

② 満期保有目的以外の有価証券

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

（売却原価は移動平均法により算定）

イ 市場価格のないもの……………取得原価（又は償却原価法（定額法））

③ 出資金

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

（売却原価は移動平均法により算定）

イ 市場価格のないもの……………出資金額

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物	8 年～50 年
工作物	8 年～75 年
物品	2 年～17 年

- ② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法
- ③ リース資産
 - ア 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
 - イ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
……………リース期間を耐用年数とし、残存価値をゼロとする定額法

(5) 引当金の計上基準及び算定方法

- ① 徴収不能引当金
未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。
長期延滞債権については、個別に回収可能性を検討し、徴収不能見込額を計上しています。
- ② 退職手当引当金
期末自己都合要支給額を計上しています。
ただし、一部の連結対象団体においては、主として期末における退職給付債務及び年金資産の見込み額に基づき計上しています。
- ③ 賞与等引当金
翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(6) リース取引の処理方法

- ① ファイナンス・リース取引
通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。
- ② オペレーティング・リース取引
通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(7) 連結資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）
なお、現金には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含みます。

(8) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。
ただし、一部の連結対象会計については、税抜方式によっています。

2 追加情報

(1) 連結対象団体（会計）

団体（会計）名	区分	連結の方法	比例連結割合
上水道事業会計	地方公営事業会計（公営企業）	全部連結	—
国民健康保険事業特別会計	地方公営事業会計（その他）	全部連結	—
介護保険事業特別会計	地方公営事業会計（その他）	全部連結	—
後期高齢者医療事業特別会計	地方公営事業会計（その他）	全部連結	—
船井郡衛生管理組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	63.79%
国民健康保険南丹病院組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	36.74%
京都中部広域消防組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	33.64%
京都府市町村議会議員公務災害補償等組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	10.30%
京都府自治会館管理組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	3.46%
京都府後期高齢者医療広域連合	一部事務組合・広域連合	比例連結	1.58%
京都地方税機構広域連合	一部事務組合・広域連合	比例連結	1.11%
京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合	一部事務組合・広域連合	比例連結	15.53%
公益財団法人南丹市福祉シルバー人材センター	第三セクター等	全部連結	—
公益財団法人南丹市情報センター	第三セクター等	全部連結	—
公益財団法人園部町振興公社	第三セクター等	全部連結	—
公益財団法人園部町農業公社	第三セクター等	全部連結	—
公益財団法人八木町農業公社	第三セクター等	全部連結	—
(株)そのべまちづくり工房	第三セクター等	全部連結	—
日吉ふるさと株式会社	第三セクター等	全部連結	—
美山ふるさと株式会社	第三セクター等	全部連結	—
医療法人財団美山健康会	第三セクター等	全部連結	—

連結の方法は次のとおりです。

- ① 地方公営企業会計は、すべて全部連結の対象としています。

ただし下水道事業特別会計は、地方公営企業法の財務規定等の適用に向けた作業に着手している（平成29年度までに着手かつ集中取組期間内に当該規定等を適用）ため、連結対象外としています。

なお、下水道事業特別会計の地方債残高は、18,568百万円、同会計に対する一般会計繰出金は1,349百万円であり、同繰出金は行政コスト計算書の「他会計への繰出金」、資金収支計算

- ① 書の「他会計への繰出支出」に含めて計上しています。

- ② 一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結の対象としています。また、京都府市町村職員退職手当組合については、連結財務書類の貸借対照表に本市の持

分相当の退職手当にかかる基金及び退職手当支給準備金を計上することをもって連結したものとみなしています。

- ② 地方三公社は、すべて全部連結の対象としています。
- ③ 第三セクター等は、出資割合等が50%を超える団体（出資割合等が50%以下であっても業務運営に実質的に主導的な立場を確保している団体を含みます。）は、全部連結の対象としています。また、いずれの地方公共団体にとっても全部連結の対象とならない第三セクター等については、出資割合等や活動実績等に応じて、比例連結の対象としています。

(2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき、出納整理期間を設けられている団体（会計）においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。なお、出納整理期間を設けていない団体（会計）と出納整理期間を設けている団体（会計）の間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

(3) 表示単位未満の取扱い

百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

(4) 売却可能資産の範囲と内訳について

売却可能資産については、固定資産台帳から売却可能資産の範囲を検討中であり、当年度末時点で売却可能資産に該当する資産はありません。